

2020 年度 京都先端科学大学 大学院
入学試験要項

バイオ環境研究科

博士課程前期

バイオ環境専攻



京都先端科学大学大学院アドミッション・ポリシー(入学者の受け入れの方針)

各研究分野の高度な学識と先端的な知識や技能の修得を通じて社会に貢献しようとする意欲の高い人を求める。

バイオ環境研究科(博士課程前期)アドミッション・ポリシー(入学者の受け入れの方針)

グリーンバイオ研究、バイオ環境デザイン研究、及び食農研究のより積極的な連携や複眼的研究をさらに進めて、「バイオ環境」というコンセプトでの新しい研究領域の模索をおこなない、新しい環境技術の創成をおこなおうとする者。修士又はそれと同等の学力を持つ社会人も受け入れる。

バイオ環境研究科(博士課程前期)求める人物像

1. バイオサイエンスに強い関心を持ち、人類の健康と、快適かつ安全な生活に応用する最先端のバイオ技術やそれを応用する産業に意欲をもって携わりたい学生。
2. 自然と科学に興味をもち、持続可能な地球環境と地域社会を建設していくバイオ環境デザイナーをめざす学生。
3. 農業のあり方や農作物の加工に興味を持ち、これらに科学的な観点からアプローチし、遂行し、農作物を通じて地域の活性化に貢献したい学生。

1. 募集研究科及び募集定員

研究科	課程	専攻	募集定員
バイオ環境研究科	博士課程 前期	バイオ環境専攻	20名

募集定員には外国人留学生・社会人等の志願者も含むものとし、入学試験について特段の配慮は行いません。
募集定員はA日程・B日程の合計です。

2. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者、あるいは2020年3月末までに該当見込みの者

- (1) 大学を卒業した者(学校教育法第102条)
- (2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者(同施行規則第155条第1項第1号)
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者(同施行規則第155条第1項第2号)
- (4) 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修することにより当該国の16年の課程を修了した者(同施行規則第155条第1項第3号)
- (5) 我が国において、外国の大学相当として指定した外国の学校の課程(文部科学大臣指定外国大学日本校)を修了した者(同施行規則第155条第1項第4号)
- (6) 文部科学大臣により指定された専修学校の専門課程を修了した者(同施行規則第155条第1項第5号)
- (7) 旧制学校等を修了した者(昭和28年文部省告示第5号第1号～第4号、昭和30年文部省告示第1号)
- (8) 防衛大学校、海上保安大学校、気象大学校など、各省大学校を修了した者(昭和28年文部省告示第5号第5号～第12号、昭和30年文部省告示第39号第2号)
- (9) 本大学院において個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた22歳以上の者(同施行規則第155条第1項第8号)
- (10) 大学に3年以上在学し、または外国において学校教育における15年の課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと、本大学院において認めた者

※上記(9)(10)により出願するものは事前に個別の出願資格審査(P6 個別の出願資格審査について参照)を受けなければなりません。該当する者は、個別の出願資格審査受付日前に入学センターへ申し出てください。

※外国人留学生においては、「出入国管理および難民認定法」による「留学」の在留資格を取得している者、または入学後、取得できる者

※出願にあたっては、志望する研究分野の担当教員と研究テーマ等について相談してください。

3. 日程

	出願	試験日	合格発表日	1次手続	2次手続
A日程	2019/9/9(月)～9/24(火)《消印有効》 本学持参の場合の受付 9/26(木)まで 京都太秦キャンパス 8:30～16:30	2019/10/5(土)	2019/10/18(金)	2019/11/1(金)	2019/11/22(金)
B日程	2020/1/8(水)～1/27(月)《消印有効》 本学持参の場合の受付 1/29(水)まで 京都太秦キャンパス 8:30～16:30	2020/2/8(土)	2020/2/18(火)	2020/2/25(火)	2020/3/6(金)

4. 選考方法

英語(下記換算表に基づく得点)、筆記試験、面接試験、書類審査により総合的に判断します。筆記試験は専門科目について行います。

英語の評価に関しては、TOEIC® L&R、TOEFL iBT®または TOEFL ITP®のスコアから下記換算表に基づいて得点を算出し、得られた得点を学力試験の得点とします。得点として有効なスコアは出願締め切り日より2年以内に受験したものに限りです。

なお、団体向けテストである TOEIC® L&R IP テストおよび TOEFL ITP®を利用する場合は、本学で実施されたものに限りです。

専門科目については、専門共通問題6分野(作物学、食品学、生態学、環境学、生化学、有機化学)のうち選択した2分野の問題と、次の試験科目等【専門科目】に示す15研究分野のうち、志望研究分野の問題1つを、試験時間中に解答してください。

【換算表】

換算点(点)	TOEIC® L&R	TOEFL iBT®	TOEFL ITP®
100	750 以上	83 以上	557 以上
90	680	73	533
80	610	64	508
70	540	56	484
60	470	48	460

【専門科目】

研究分野	出題範囲キーワード
農業生産学	新種苗、植物組織培養、地域振興
農地環境	バイオマス、土壌肥料
食品加工学	食品加工学、食品化学
発酵醸造学	一般微生物学、発酵醸造学、麹菌・酵母・乳酸菌・納豆菌の微生物学
ランドスケープデザイン	景観生態学、ランドスケープデザイン、グリーンインフラ
水環境	水処理技術、水質、水圏生態学
都市自然化	水辺環境、地域資源
環境情報	地理情報科学、環境評価、環境保全、土地利用計画
環境教育	生態学、保全生物学、地球化学
里山環境	生物多様性、持続可能性、二次的自然
生物有機化学	有機化学(反応機構、機器分析を含む)、化学生態学
分子生物学	分子生物学、生化学
微生物機能開発学	一般微生物学、応用微生物学、物質生産、環境浄化、微生物酵素
食品機能学	食品化学、栄養生化学
植物バイオテクノロジー	植物生化学、植物生理学、植物分子生物学

5. 試験科目等

時間	試験	
10:00～11:30	筆記試験「専門科目」	専門共通問題6分野(作物学、食品学、生態学、環境学、生化学、有機化学)のうち選択した2分野の問題と、P.3に示す15研究分野のうち、志望研究分野の問題1つを解答する。
12:30～(予定)	面接	学力およびそれに関する事項

※試験開始後、20分以上遅刻した者は受験を認めません。

※英語(換算表に基づく得点)100点、[専門科目]100点、面接試験の合計点で総合評価します。

6. 試験場

本学(京都太秦キャンパス)

7. 出願書類

- ① 入学願書(志願票・写真票)
- ② 卒業証明書または卒業見込証明書(出身大学が作成し、厳封したもの)
※大学院修了者は併せて、大学院の卒業証明書も提出すること。
- ③ 成績証明書(出身大学が作成し、厳封したもの)
※大学院修了者は併せて、大学院の成績証明書も提出すること。
- ④ 卒業論文、または実験、実習、演習概要書
A4横書き 1,000字以内(図表を含む) 志望専攻・志望研究分野・氏名付記
※用紙については、「マス目」「白紙」の2種類用意しています。どちらか一方をご使用ください。
- ⑤ 個人調書(本学所定の用紙) ※外国人留学生は不要。
- ⑥ TOEIC®または TOEFL®のスコアを証明する書類(原本)のコピー
※資格を証明する書類
TOEIC® L&R 公開テストの場合: Official Score Certificate (公式認定証)
TOEFL iBT®の場合: Examinee Score Report (受験者控え)
TOEIC® L&R IP テストの場合: スコアレポート(個人成績表)
TOEFL ITP®テストの場合: スコアカード(受験者控え)
なお、コピーに使用した原本(出願後の差し替えは一切認めません)を**試験日当日に持参すること**。確認後に返却します。

社会人については次の書類もあわせて提出すること。

- ⑦ 官公庁、企業などに在職中の者は、所属長の受験承諾書

外国人留学生については次の書類もあわせて提出すること。

- ⑧ 外国人留学生個人調書(本学所定の用紙)
- ⑨ パスポートの顔写真のあるページのコピー
- ⑩ (日本国内在住者)在留カード両面のコピー(最新のもの)
- ⑪ (日本国内在住者)住民票の写しまたは住民票記載事項証明書
注)3ヶ月以内に取得したもので、在留資格・在留期間等の満了日の記載があるもの
- ⑫ 出願書類チェックシート
 - 出願書類に記入する氏名はパスポート記載の氏名を用いてください。
 - いずれの書類も日本語または英語で記載されていること(その他の言語の場合は必ず日本語訳を添付すること)

8. 入学検定料

35,000 円

9. 出願の流れ・注意事項

- ① 志願票を使用して入学検定料 35,000 円を出願期間内に本学指定の銀行口座に「電信扱い」で振り込んでください。本学入学センターへ持参する場合は現金持参可能です。納入された検定料は理由の如何を問わず返還しません。
- ② 出願に必要な書類を所定の封筒にて、出願期間内に簡易書留速達で郵送してください。本学入学センターへ直接持参することも可能です。
- ③ 出願書類に虚偽の記載があった場合は受験を認めません。また、受験後に判明した場合には、受験を無効とし、可否の判定及び入学を取り消します。
- ④ 身体に障がいのある者で、受験上の特別の配慮を希望する場合は、事前に本学入学センターまで申し出てください。

10. 合格発表

可否結果は郵送および Web にて通知します。電話等による問い合わせには一切応じません。

入学手続等については、合格通知に同封している入学手続要項を参照すること。

■ Web(パソコン・スマートフォン)による合否案内について

当サービスは、インターネット接続可能なパソコン・スマートフォンにてご利用になれます。

利用方法は次の通りです。よく読んでから正確にアクセスしてください。

- ① このサービスは、当該入試合格発表日から 3 日間行います(その間は 24 時間アクセス可能です)。それ以降は確認できません。
- ② 全研究科とも合格発表日の午前 10 時から一斉に開始します。
- ③ サービス開始時刻直後は込み合うおそれがあります。アクセスしにくいときは、少し時間をずらしてアクセスしなおしてください。
- ④ 本学ホームページにアクセスし、「入試情報」から「合格発表」へ進んでください。
<https://www.kuas.ac.jp/>
- ⑤ アクセス状況の問い合わせやスマートフォンの機種別のサービス利用可否等についての問い合わせには一切応じられません。
- ⑥ 本システムの「誤操作・入力ミス」「見間違い」等を理由とした入学手続締切日を過ぎての入学手続きは認めません。
- ⑦ スマートフォンの機種によってはご利用いただけない場合がありますので予めご了承ください。
- ⑧ 本システムでは音声での案内はしていません。

個別の出願資格審査について

個別の出願資格審査を必要とする方は、以下の手続に従って事前審査を受けてください。なお、個別の出願資格審査を受けようとする場合は、各書類を郵送する前に本学入学センターへ申し出を行い、申請書類の種類の確認を行ってください。特に下記の 2. 申請書類(2)(3)については、発行する学校によって名称が異なる場合がありますので注意してください。

1. 申請期間

A 日程:2019 年 8 月 24 日(土)～ 8 月 30 日(金) 審査結果発表 2019 年 9 月 6 日(金)

B 日程:2019 年 12 月 13 日(金)～12 月 20 日(金) 審査結果発表 2019 年 12 月 26 日(木)

いずれも期間内必着で、簡易書留にて郵送してください。

封筒には「大学院出願資格認定申請書在中」と明記してください。

2. 申請書類

出願資格(9)による出願者

- (1) 出願資格認定申請書(履歴書)(本学所定様式)
- (2) 最終学歴の卒業証明書もしくは在籍証明書(退学・除籍等の証明書で在籍期間が明記されたもの)
(最終学歴の学校が発行したもので厳封されていること)
- (3) 最終学歴の成績証明書(最終学歴の学校が発行したもので厳封されていること)

出願資格(10)による出願者

- (1) 出願資格認定申請書(履歴書)(本学所定様式)
- (2) 在籍証明書(在籍期間が明記されたもの)
- (3) 成績証明書(最終学歴の学校が発行したもので厳封されていること)
- (4) 3 年次における修得見込み科目・単位数を明記したもの(本学所定様式で本人の申告による)

なお、この出願資格による入学試験合格者は仮合格者であり、3 月末に 3 年次の取得単位成績を確認後正式に合格者とします。したがって、2020 年 3 月 21 日(土)までに成績証明書を提出してください。また仮合格者は、学力試験の成績が特に優秀であった者から選抜されます。

※(3)(4)はいずれかを提出

長期履修学生制度

長期履修学生制度とは、職業を有している等の事情により、標準修業年限(2年間)では大学院の教育課程の履修が困難な者に限り、計画的に3～4年の履修計画期間をかけて教育課程を履修し、修了する制度です。

1. 申請資格

- ① 職業を有している者
- ② 育児、介護等の事情により、標準修業年限で修了することが困難であると学長が認めた者
- ③ その他やむを得ない事情(身体の障がい、疾病等)を有し、標準修業年限で修了することが困難であると学長が認めた者

※外国人留学生(在留資格「留学」を有する者)は申請できません。

2. 履修計画期間

標準修業年限2年を含み、3年もしくは4年(年単位)

3. 申請手続き

入学日の原則20日前(2020年3月11日)までに指定書類を提出してください。

4. 授業料等の取り扱い

履修計画期間における授業料等の額は、標準修業年限分の学費を履修計画期間で除した額となります。

学費等納入金(2020年度予定)

※学費等納付金は予定であり変更になる可能性があります。入試手続要項でご確認ください。

※入学手続時の納付は2段階です。＜1次手続:入学金＞＜2次手続:授業料等＞

	年額	年額内訳			備考	
		入学手続時		10月納付		
		1次手続	2次手続			
入学金	200,000	200,000			入学時のみ、注1	
学費	授業料	630,000		315,000	315,000	
	施設設備費	150,000		75,000	75,000	
	実験実習費	170,000		85,000	85,000	
	小計	950,000		475,000	475,000	
合計	1,150,000	200,000	475,000	475,000		

【注1】 最終学歴が京都先端科学大学(旧京都学園大学)卒業者は100,000円

※外国人留学生の方:上記学費等の他に留学生傷害保険料2年間分として8,970円(予定)を2次手続時に徴収します。

大学院給付奨学金

選考の結果、特に優秀な成績の者や実績のある者には大学院給付奨学金を支給します。ただし、当該給付奨学金の審査対象者は出願時に対象希望の申請をした者のみとなります。

については、志願票の「大学院給付奨学金」欄で申請の有無を必ず選択してください。

奨学金の給付額は、入学金及び学費（授業料、施設設備費及び実験実習費）の全額又はそれらの50%とします。なお、入学後の修学状況等によっては奨学金を取り消すことがあります。

入学辞退

2次手続完了後に、入学を辞退する場合には、2020年3月31日(火)16:30(必着)までに書面で申し出ることが必要です。その場合に限り入学金以外の納付金(2次手続分)を返還します。詳細は合格通知に同封する入学手続要項を参照してください。

研究科の概要

研究分野	研究内容
農業生産学	環境と食糧生産の調和のとれた農業環境創造を研究しています。その主な対象は農作物の育種(品種改良)、生産基盤となる土壌と水の保管理、地域振興、商品化です。特に植物組織培養などの新しい技術を導入して地域に適応した野菜の育種を進めます。
農地環境	循環型農業の構築を目指した、環境に調和した土作りや農地環境維持のための里山資源や天然資源の活用を研究します。
食品加工学	農産物の加工による物性の変化や食品成分の変化を解析します。それらを通じて、新しい食品加工法や食品保存法を開発します。また、地域の農産物をおいしく加工し、地域の発展につなげます。
発酵醸造学	醸造微生物の探索・研究と、発酵醸造への応用における諸課題の学問的探究。微生物学の知見を活かし、地域を拠点に発酵醸造物の高付加価値化を追求します。
ランドスケープデザイン	景観＝ランドスケープの秩序の原理を探る「景観生態学」と自然の災害を和らげ豊かな恵みを持続的に享受する「バイオ環境デザイン」を武器に、生物親和都市などのグリーンインフラストラクチャー(自然力を活かした国土形成手法)の構築を目指します。
水環境	安全な飲み水の確保や、良好な河川・海域環境の再生・保全のため、家庭や工場からの廃水の効率的な処理方法の追及、河川や湖での生物による浄化作用の解明と促進、河川や海の水質変化が生物に与える影響の調査などを行います。
都市自然化	都市を中心とした地域空間での身近な地域資源を掘り下げ、自然環境、水辺環境、生活環境の課題抽出から、地域の再生までの方法論を幅広く学びます。環境アセスメントや地理情報システム(GIS)などの具体的手法に関しても学びます。
環境情報	中山間地域を対象にして、行政が公開している環境関連情報をGIS(地理情報システム)で解析し、農林業、観光、自然災害、獣害、病虫害、気候変動、生物多様性、文化的景観、環境保全などの視点から評価するとともに、それらの研究成果を地域のゾーニングや土地利用計画、地域活性化などに応用しています。
環境教育	動物の生態・保全研究と、地殻を構成する物質の物性研究を行っています。環境教育は人間の活動全てに関わる総合的な学問領域ですが、環境教育分野では、生物に関するマクロな視点と物質の基本的理解という理系の視点から課題にアプローチし、科学的な面白さや技術的な重要性から、環境・環境問題に対する関心へと発展するような研究を行っています。
里山環境	里山をフィールドに、野生動植物の生態、二次的自然と生物多様性の保全、生物資源を活かした伝統的な生業などについて学び、失われつつある里山の自然と文化の価値を見直しながら、人と多様な生き物の共生を目指します。

次ページに続く

研究分野	研究内容
生物有機化学	抗生物質、ホルモン、フェロモン、摂食阻害物質など、さまざまな機能を持つ化学物質の構造を解析し、その働きを探求します。さらに、医薬や農薬への応用を検討し、人々の健康、快適な生活への貢献を目指します。
分子生物学	多様な細胞の機能を細胞レベルあるいは遺伝子やタンパク質の機能を分子レベルで解析し、タンパク質が操る巧妙な調節機能を解明します。それらの成果が、生活習慣病などの病因解明に貢献することを目指します。
微生物機能開発学	細菌、酵母、カビなどの持つ有用な能力の探索とその開発。微生物の力を利用した、環境と調和した物質生産、未利用資源の有効利用、環境修復技術を追求します。
食品機能学	最先端の分析技術や単離・精製技術および食品の機能性評価方法を駆使して、新しい食品素材の開発・研究を実施します。それらを通じて、農産物の機能性表示や健康機能性食品の製造や、医薬産業・化学産業に貢献します。
植物バイオテクノロジー	太陽エネルギーと二酸化炭素を使って有用な物質を作る能力、環境浄化能力、共生能力など、植物のもつさまざまな機能や能力を研究。その能力を食糧・資源・地球環境における、さまざまな問題の解決に役立てます。

個人情報の取り扱いについて

受験生の方からご提出いただいた出願書類により本学が保有した個人情報は、以下のように利用させていただきますので、あらかじめご了承ください。

- (ア) 出願書類に不備があった場合に当該受験生に連絡を取ります。場合によっては、当該受験生の所属する大学等に連絡を取ります。
- (イ) 受験票を当該受験生に送付します。
- (ウ) 合否通知を当該受験生に通知します。
- (エ) 合格者に入学手続書類等を送付します。
- (オ) 個人を特定しない集計処理をします。
- (カ) 入学式の案内、学生総合保険案内等を送付します。
- (キ) 入学後の各種案内を送付します。
- (ク) 入学後の名簿作成・修学指導等に利用します。
- (ケ) 個人情報および入試結果のデータ処理を業者に委託する場合があります。なお、受託業者は、上記の情報を京都先端科学大学が明示する用途のみに使用し、受託業務を超えて利用することはありません。本学は、委託先における個人情報の保護が適切になされ、安全管理が十分に行われていることを業者選定の基準にしています。

出願に係わる個人情報は、あらかじめ本人の同意を得ないで第三者に提供しません。ただし、①法令に基づく場合、②個人の生命・身体又は財産の保護のために必要がある場合であって本人の同意を得ることが困難であるときなど、個人情報保護法並びに「学校法人永守学園個人情報の保護に関する規程」に定める特段の事情がある場合は、この限りではありません。

なお、出願に係わる個人情報の取り扱いについてのお問い合わせは、京都先端科学大学入学センターまでご連絡ください。



京都太秦キャンパス 〒615-8577 京都市右京区山ノ内五反田町18

京都亀岡キャンパス 〒621-8555 京都不亀岡市曾我部町南条大谷1-1

URL. <https://www.kuas.ac.jp/>

入学センターへのお問い合わせ TEL. 075-406-9270

E-mail nyushi@kuas.ac.jp